



# 真鍋っ子

学校情報誌 No. 22  
平成30年 3月発行  
真鍋小学校 校長室

## 蒜山に行ってきました!

前日から春一番が吹き荒れた3月1日。

真庭市立川上小学校へ交流学习に行かせてもらいました。一週間前までは運動場も周囲も一面の雪景色だったそうですが、このところの陽気で、日なたの雪はほとんど溶けていました。



### <川上小の4年生と>

- ① はじめの会 自己紹介 校歌
- ② 真鍋小から
  - ・真鍋島について(2・4年)
  - ・真鍋の海、瀬戸内海について(5・6年)
- ③ 川上小から
  - ・蒜山の自然、春夏秋冬
  - ・蒜山の生き物
  - ・蒜山の観光地、特産物
- ④ おわりの会 お礼の言葉 感想



あっという間に1時間。互いの発表で終わってしまいましたが、蒜山の特色を詳しく知ることができました。「真鍋島に行ってみたい」という声を聞くこともできました。最後に、給食を食べているランチルームに行って、全校の友達にあいさつをして出ました。

### <ベアバレースキー場にて>

雪の中で宝探しや、そりすべりをしました。強風で紙のお宝が吹っ飛んでしまうハプニングがあったり、雪の中を登るしんどさ、長靴の中に雪が入って足が凍えてしまうつらさを経験したりして、雪の多い地域の様子を、少しでも身をもって感じることができました。

そりすべりも、最初は止まったりゴロゴロと転んだりするばかりでした。雪が柔らかく斜面もでこぼこでしたが、がんばって何度も挑戦しました。足を上げて重心の取り方を工夫したり体の向きを変えたりすると、だんだん調子よく滑ることができ始めました。

雪を抱いた高く連なる山々に、「CG!?! 映画みたい!」とつぶやいたり、風や雪の冷たさを体感したり、川上小の友達や先生方の優しさにふれたり。1年間の様々な交流を締めくくる貴重な体験となりました。

次回の交流も約束させてもらい、来年度また行くのが楽しみです。

行き帰りのバスの中では、5年生を中心に「6年生とのお別れ会」を行いました。短期間のうちに、ゲームや歌、プレゼントの準備を進め、一日を通じて、良い思い出ができました。

4月からの真鍋小も、ばっちり大丈夫です!



今回の交流は、福武教育文化振興財団の助成で実施しました。スキー服の準備や片づけは、真鍋の先生方が骨を折ってくださいました。いろいろな方の支えがあることを、児童の皆さん、知っておいてくださいね。